

まちとまちをつなぐ自転車道路・札幌恵庭自転車道線の延伸とまちづくり

札幌恵庭自転車道線恵庭工区
延伸ルート検討委員会

今、街では自転車ブームが起きている。われも、いざ！と思いきや、車道も歩道も自転車が安心して走れるところは意外に少ない。最も安全に走れる空間が自転車道路であるとしても、身近なところにはないのが現実である。

2004年に札幌北広島自転車道が北広島市から恵庭市まで延伸することが決定され、昨年、恵庭市ではルートの選定、使用、管理方法などの検討を始めた。

サイクルスポーツとして自然豊かな郊外を通すべきか、シティサイクルとして利便性のよい街中を通すべきか。延伸ルート検討委員会での熱心な議論の状況や自転車道路とまちづくりについて、「エンジンを自分の中に取り戻す時が来た」という委員長の泉谷清さんからお話をうかがいました。



NPOえにわ市民プラザ・アイル理事長 泉谷 清さん

自転車道が街にやってくる

札幌恵庭自転車道*（総延長31.8km）は、札幌市の東札幌から北広島駅まで（19.8km）が2004年に開通し、北広島市から恵庭市まで延伸することが決定されています。

既開通区間の大部分は旧国鉄千歳線の跡地を利用したもので、電車に乗って札幌に行く車窓から、北広島には自転車道路があつていいなあと、うらやましい思いで眺めていました。市民の多くがこの自転車道が恵庭まで早く整備されることを期待していると思います。

昨年、この自転車道の延伸ルートを検討するために検討委員会を開催することとなり、委員を公募したところ、市民の関心が非常に高く11名もの応募がありました。検討委員会の正式名称は「札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会」で委員13名、アドバイザー1名の合計14名で構成、2010年3月から12月まで7回開催し、ルート、整備方針、整備イメージ、活用方策、管理方策について検討しました。皆さんそれぞれ熱い思いをもって、かんかんがくがく真剣な議論を繰り返してくれました。

郊外ルートかまちなかルートか、それが問題だ！

何回か議論するうちに自転車道のルートの選定について意見が真っ二つに分かれました。恵庭西部の原野山岳など自然豊かなところを走るサイクルスポーツに最適な「郊外ルート」と、中央部の島松地区から恵み野、恵庭地区へ至る生活利便性の高い「まちなかルート」です。

どちらのルートもそれぞれの魅力を持っていて、机上の議論だけでは決めることはできません。私は、実際に走ってみましょと提案しました。委員のみんなが実際に現場を走ってみて、お互いの意見を理解しあいながらより議論を深め、ルートを決めていこうと思ったのです。私が提案したとき、「あの長い距離を本当に走るのか」と最初は皆さんびっくりしていました。委員9人とアドバイザー、事務局4人が参加し、休み休み走りながら、合計3時間くらいは走ったと思

※ 札幌恵庭自転車道

起点を札幌市豊平川（上白石橋付近）、終点をJR恵庭駅として整備が予定されている。現在、札幌市コンベンションセンター付近からJR北広島駅まで共用。恵庭工区の起点は、道道江別恵庭線の島松川橋梁を予定。

います。

現地調査後、参加した人全員にどちらのルートがいかをアンケートで回答してもらいました。その時点で、まちなかルートを希望する人が多くなりました。

議論を重ねるなかで、自転車道の役割として「まちづくりの骨格になるものをつくろう」という原則を確認しました。骨格をまず作ったうえで、枝葉はそれにつなげていけばいいという考え方です。公共事業がますます減少する現在、まちの骨格を今つくっておかないと、将来細かいまちづくりができなくなるのです。

恵庭のまちは、大きく三つの川と三つの集落でできています。漁川、柏木川、ルルマップ川などが山岳部から市街部を西から東へ貫き田園部で千歳川と合流します。街と街を自転車道でつなぐことができれば、それが骨格となります。現在ある河川敷サイクリングロードや自転車歩行者道などがつながることで、将来的には山岳原野や田園なども含めたサイクリング道路網が実現します。

サイクルスポーツも楽しめて、通勤や通学にも使える、市民みんながいろいろな生活場面で使えて、他のまちからも人々が訪れることができる、そんな欲張りな骨格に育てることも可能です。

議論を掘り下げていく中で、多くの委員がまちなかルートに賛同し、郊外ルートを希望する人たちもまちなかルートに一定の理解を示してくれるようになりました。

自転車道路の整備イメージと使い方

委員会は、ルートの選定だけではなく、整備イメージや使い方、維持管理の方法についても検討を求められていました。ワークショップ形式で議論を重ね、素晴らしいアイデアがたくさん出ました。

整備の基本的な方針は、歩行者も車椅子の人も、誰

もが安全に使えて、しかも段差などのない快適な道路であることや、サイクリングやジョギング、散策など健康づくりの場となり、交流や憩い、まちづくりにつながる自転車道であることを確認しました。その上で、休憩施設やトイレ、修景施設、さらにはレンタサイクル施設などの整備イメージを検討しました。

「利便性が向上する道」というより「ライフスタイルの向上をテーマとする道」をイメージした自転車道にしたいとか、イベントも重要だが家族が日常的に利用できることが重要であるという意見も出ました。せっかく札幌市とつながるのだから、札幌の人たちが訪れたい自転車道にしたいとの意見も出ました。

私が特に強調しておきたかったのは、高齢社会に対応できる自転車道です。高齢者が増えて車椅子や歩行補助車、シニアカーなど、道路交通法では歩行者扱いで歩道を走行することとなっている乗り物が増えていますが、今までの歩道では余裕がなくて危険な箇所が増えていて、今後の整備が急務です。しかし、既存の道路の整備は時間がかかります。そこで、新しい自転車道には、車椅子やシニアカーなどが余裕をもって通行できるバリアフリーな道路整備が必要です。

計画づくりから維持管理まで市民がつくるえにわ物語

2010年2月20日に恵庭市長に提出した提言書では、後世に残す自転車道づくりとして「自転車道えにわ物語」をつくらうと提言しました。

「えにわ物語」としたのは、整備の段階でも、整備後も、使い方や維持管理も含めて市民みんなが参画し、後世まで自分たちの関わり方を物語として語り継ぎ、受け継いでいくという意味を込めました。

市長は「提言を基に恵庭市の魅力ある“水や緑や花”に多くの人々がふれあうことができるような広域サイクリングロードのネットワーク化整備を関係機関や団体



などと連携して進めていきたい」と力強い決意を示していただきました。

行政が一方向的に整備しただけならば、整備後はただ雑草が伸びるだけの自転車道で終わってしまいます。整備過程にも再度私たちが参加していこうということです。例えば、休憩所や里程標（キロポスト）の整備など、どんな機能が必要で、どんなデザインがいいかなどに実際に参加し検討していくのです。

恵庭市には世界的に有名な椅子を作っている人がいます。その椅子を要所要所に整備して、恵庭らしさを出していく。休憩所にはイベントスペースが欲しい。ビューポイントをつくろう。そこに水車をつけて電気を起こし、足湯をつくろう。さまざまなアイデアや意見が出ています。

整備段階にも市民が参加してアイデアを具体化することが実際の運営や使い方にも反映し、維持管理までの積極的な市民参加が担保されるのです。

市街地に立って東方向を眺めれば十勝岳まで見渡せるビューポイントがあります。柏木川沿いを走る島松地区では、春先には耕した畑地の朝陽を浴びた真っ黒い土が湯気を上げるという、えもいわれぬ幻想的な情景も、自転車道だからこそゆっくりと楽しむことができるんです。

生活シーンからうまれる観光

恵庭市の2006年から始まった第4期総合計画では将来像を「水・緑・花・人がふれあう生活都市」と豊かな生活都市を掲げていますが、観光資源がないということではありません。今や一大観光資源に定着したガーデニングも、そもそもは生活シーンから生まれたものです。これからの観光は生活のなかにこそ見出せるものだと思っています。

ガーデニング観光もできあがった庭だけでなく、世



話をしているところにも光を当てる必要があるかと思っています。また、サッポロビール(株)や山崎製パン(株)などの多くの工場がありますから、その生産現場を見てもらう。恵庭市は病院が多いことで有名ですから、こういう名医がいるということもある意味資源だと思います。時代のニーズに合った光の当て方を工夫していくことが大切です。

自転車道が市民生活と密着して元気に楽しく使われていれば、回りから人々も集まり、人が人を呼んできます。そういう元気や市民が楽しんでいる光景をたくさん作り出せる自転車道をつくっていければと願っています。

エンジンを自分の中に取り戻すときが来た

補助輪を取って、初めて自転車に一人で乗れるようになったときの感動を多くの人が経験していると思います。その感動をもう一度思い出してほしいと思っています。自転車に乗る機会のなかった人、これまで乗れなかった人などが、乗れるようにする機会を提供できればいいですね。それもえにわ物語のひとつに入れていきたいです。

私も子供のときは自転車に乗っていましたが、大人になってからは山道を走るラリーに参加するくらいに車マニアでした。そういう意味ではずいぶん自然環境に負荷をかけてきました。今回、検討委員会の委員長をやらせていただき、その原点に戻ってみたいと思います。車のエンジンを自分の体に取り戻し、自転車で走り出す。自転車道ができるまでには、体を少し鍛えておきたいですね。



札幌恵庭自転車道延伸ルート案